



2025年 10月期 第1四半期決算説明会資料

(2024年11月-2025年1月)

2025年3月28日

巴工業株式会社

(証券コード：6309)



ページ	目 次	トピックス
3	2025年 10月期 1Q決算概要説明	化学工業製品販売事業、機械製造販売事業共に販売が伸長し、前年同期と比べ大幅な増収増益
13	2025年 10月期 通期業績見通し	- 売上：両事業共に販売好調により2期連続過去最高更新を見込む - 利益：機械事業の増益により営業・経常利益共に5期連続過去最高益更新を見込む
17	株式分割について	- 株式分割(1:3) - 期末配当予想の修正(分割前換算で2円の増配) - 株主優待の条件緩和
22	2025年 10月期 トピックス	- 化学工業製品販売事業：鉱産関連の好調について - 機械製造販売事業：民需の好調について



2025年 10月期 第1四半期決算概要説明

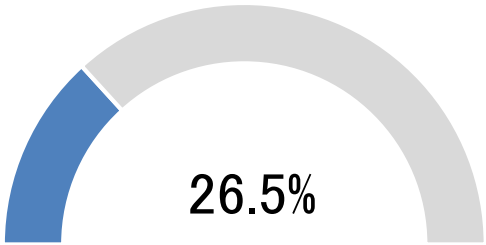
2025年10月期 第1四半期決算



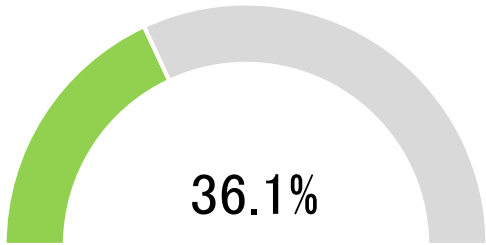
- 売上高は、化学工業製品販売事業、機械製造販売事業いずれも販売が伸長したことから前年同期比24.3%増
- 経常利益は、両事業の増収を背景に前年同期比55.2%増

(単位:百万円)

	24/01	25/01	前年対比	
	実績	実績	増減	前年比(%)
売上高	12,138	15,086	+2,948	+24.3
営業利益	1,120	1,793	+673	+60.1
経常利益	1,163	1,805	+642	+55.2
当期純利益	807	1,237	+430	+53.2



売上高進捗率



経常利益進捗率

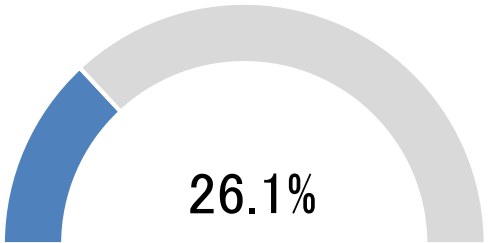
2025年10月期 第1四半期決算 -化学工業製品販売事業-



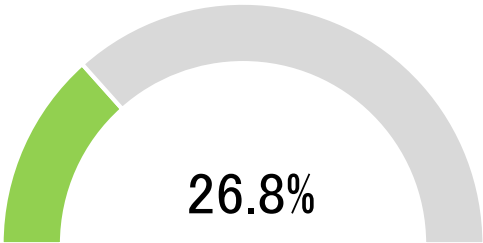
- 売上高は、建材・自動車用途ならびに耐火物向け材料、コーティング用途向け材料等を中心に伸長し
前年同期比11.8%増
- 営業利益は堅調な販売により前年同期比4.4%増

(単位:百万円)

	24/01		25/01		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	9,671	—	10,812	+11.8	—
売上総利益	2,156	22.3	2,313	+7.3	21.4
営業利益	895	9.3	935	+4.4	8.7



売上高進捗率



営業利益進捗率

2025年10月期 第1四半期決算 -化学工業製品販売事業-



(単位:百万円)

	24/01	25/01	差 異	主な増減要因
化成品関連	2,251	2,772	+521	新規商権獲得により、コーティング用途向け材料が好調
鉱産関連	1,690	3,019	+1,329	樹脂向け添加剤(三酸化アンチモン)が好調
工業材料関連	1,528	1,655	+127	建材・耐火物向け材料が堅調に推移
機能材料関連	1,674	1,310	▲363	市況悪化によりパワー半導体向け部材が低調
電子材料関連	1,246	1,065	▲181	半導体組立用途向け材料が低調
合成樹脂関連	1,185	988	▲197	海外子会社の低調(星際Gの解散準備等)による減収
その他(洋酒)	94	0	▲94	2024年2月に洋酒事業売却
合 計	9,671	10,812	+1,141	

2025年10月期 第1四半期決算 -化学工業製品販売事業-(分野別進捗率)



(単位:百万円)

	25/10 見通し	25/01 実績	進捗率	コメント
化成品関連	9,975	2,772	27.8%	化成品関連、鉱産関連が好調に推移し、工業材料関連も堅調
鉱産関連	7,678	3,019	39.3%	
工業材料関連	6,665	1,655	24.8%	
機能材料関連	7,481	1,310	17.5%	半導体市況の悪化を背景に機能材料、電子材料関連は低調に推移
電子材料関連	5,089	1,065	20.9%	
合成樹脂関連	4,421	988	22.3%	
合 計	41,400	10,812	26.1%	好調な分野が他の分野をカバーし、全体では順調な推移

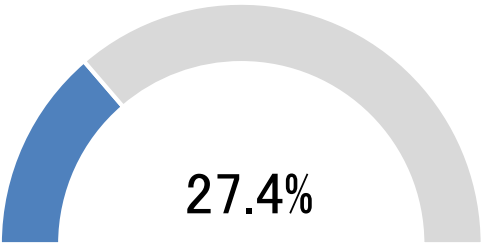
2025年10月期 第1四半期決算 -機械製造販売事業-



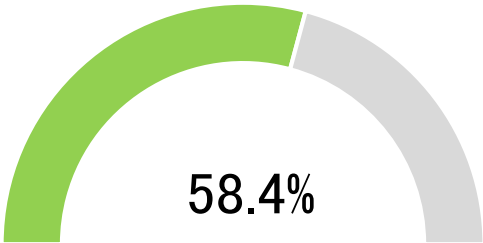
- 売上高は、好調な受注に支えられ、官需および民需が全般的に好調だったことに加えて、海外向け機械および装置/工事販売が伸長したことから前年同期比73.2%増
- 営業利益は増収により前年同期比282.1%増

(単位: 百万円)

	24/01		25/01		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	2,467	—	4,274	+73.2	—
売上総利益	1,132	45.9	1,836	+62.2	43.0
営業利益	224	9.1	858	+282.1	20.1



売上高進捗率



営業利益進捗率

2025年10月期 第1四半期決算 -機械製造販売事業-



(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	24/01	53	284	497	836	機械 : 中型機、その他機器販売によりプラス 装置/工事 : 元請工事によりプラス 部品/修理 : 大型案件の元請受注により 大幅プラス
	25/01	123	357	943	1,424	
	差異	+69	+72	+445	+587	
民 需	24/01	231	0	403	635	機械 : 石油化学、医薬向けが好調で大幅プラス 装置/工事 : 小型機販売によりプラス 部品/修理 : 石油化学、エネルギー関連向けが 好調で大幅プラス
	25/01	702	15	651	1,369	
	差異	+470	+15	+247	+733	
海 外	24/01	184	0	810	995	機械 : 半導体、飼料向けが好調で大幅プラス 装置/工事 : 半導体向け装置の販売によりプラス 部品/修理 : 堅調に推移
	25/01	432	284	763	1,480	
	差異	+247	+284	▲47	+485	
合 計	24/01	470	284	1,712	2,467	・大都市圏の下水処理場向けのメンテナンス時期 と重なったことにより官需が増収 ・民間企業の活発な設備投資により民需が増収
	25/01	1,258	657	2,358	4,274	
	差異	+788	+372	+645	+1,806	

2025年10月期 第1四半期決算 -機械製造販売事業-(分野別進捗率)



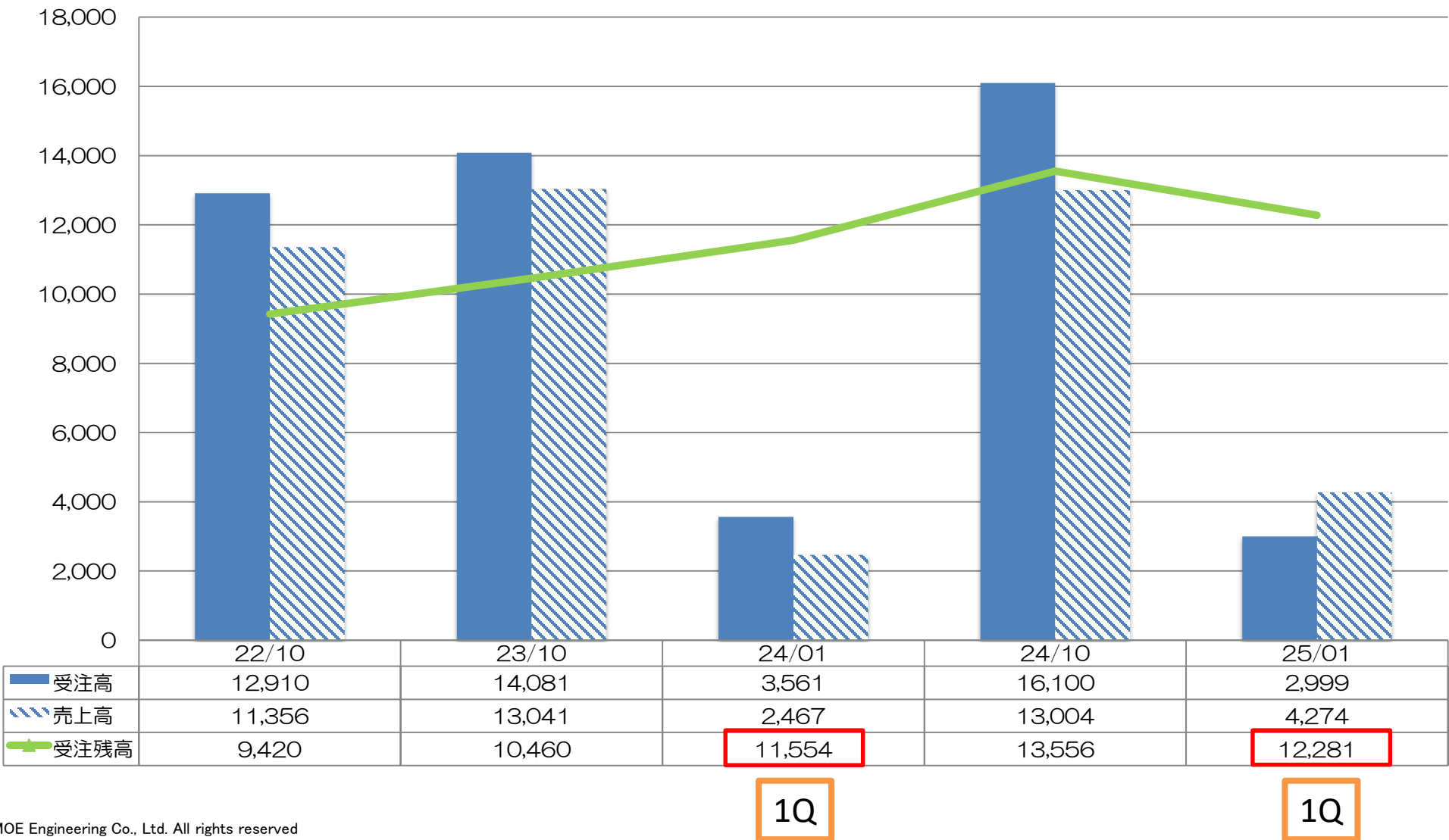
(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	コメント
官 需	25/10見通し	1,073	1,575	3,165	5,815	民需向け機械の販売が1Qに集中し好調に推移
	25/01実績	123	357	943	1,424	
	進捗率	11.5%	22.7%	29.8%	24.5%	
民 需	25/10見通し	1,729	612	2,307	4,648	官需および民需向け部品修理が好調に推移
	25/01実績	702	15	651	1,369	
	進捗率	40.6%	2.5%	28.2%	29.5%	
海 外	25/10見通し	1,817	306	3,016	5,136	
	25/01実績	432	284	763	1,480	
	進捗率	23.8%	92.8%	25.3%	28.8%	
合 計	25/10見通し	4,620	2,493	8,485	15,600	全体では部品修理の好調が増益に寄与
	25/01実績	1,258	657	2,358	4,274	
	進捗率	27.2%	26.4%	27.8%	27.4%	

2025年10月期 第1四半期受注残 -機械製造販売事業-



- 1Qの販売が好調だったことにより前期末と比べ受注残は減少するも、前年同期比で高水準を維持



2025年10月期 第1四半期決算-B/S (連結)-



(単位:百万円)

	24/10	25/01	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動資産	42,239	40,860	▲1,379	▲3.3	現金及び貯金 ▲3,842 受取手形、売掛金及び契約資産 +1,522
固定資産	10,949	11,043	+93	+0.9	
資産合計	53,189	51,904	▲1,285	▲2.4	
	24/10	25/01	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動負債	13,247	10,844	▲2,403	▲18.1	賞与引当金 ▲1,293 未払法人税等 ▲740
固定負債	590	1,003	+413	+69.9	
負債合計	13,838	11,848	▲1,990	▲14.4	
純資産合計	39,351	40,056	+705	+1.8	利益剰余金 +419
負債・資本合計	53,189	51,904	▲1,285	▲2.4	



2025年 10月期 通期業績見通し

2025年10月期 通期業績見通し

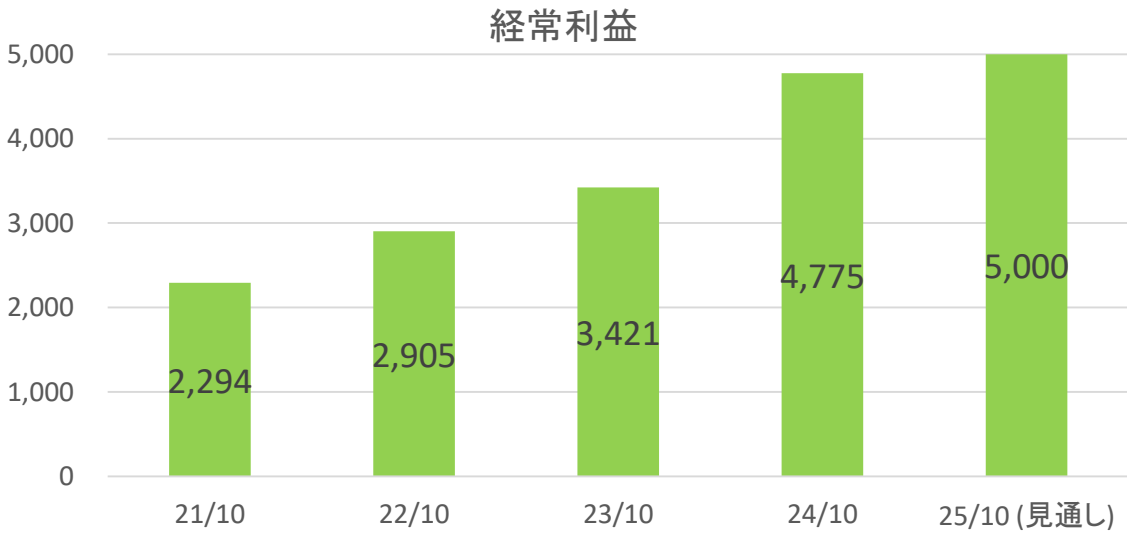
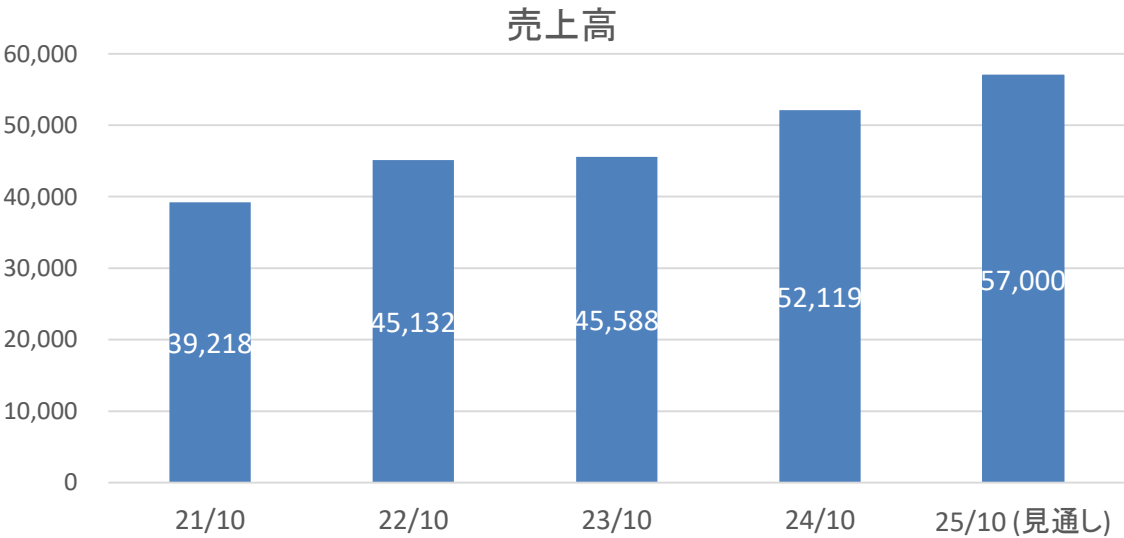
再掲



- 売上、各利益いずれも過去最高の更新を見込む

(単位: 百万円)

	24/10	25/10	前年対比	
	実績	見通し	増減	前年比 (%)
売上高	52,119	57,000	+4,880	+9.4
営業利益	4,703	4,960	+256	+5.5
経常利益	4,775	5,000	+224	+4.7
当期純利益	3,616	3,620	+3	+0.1



2025年10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-

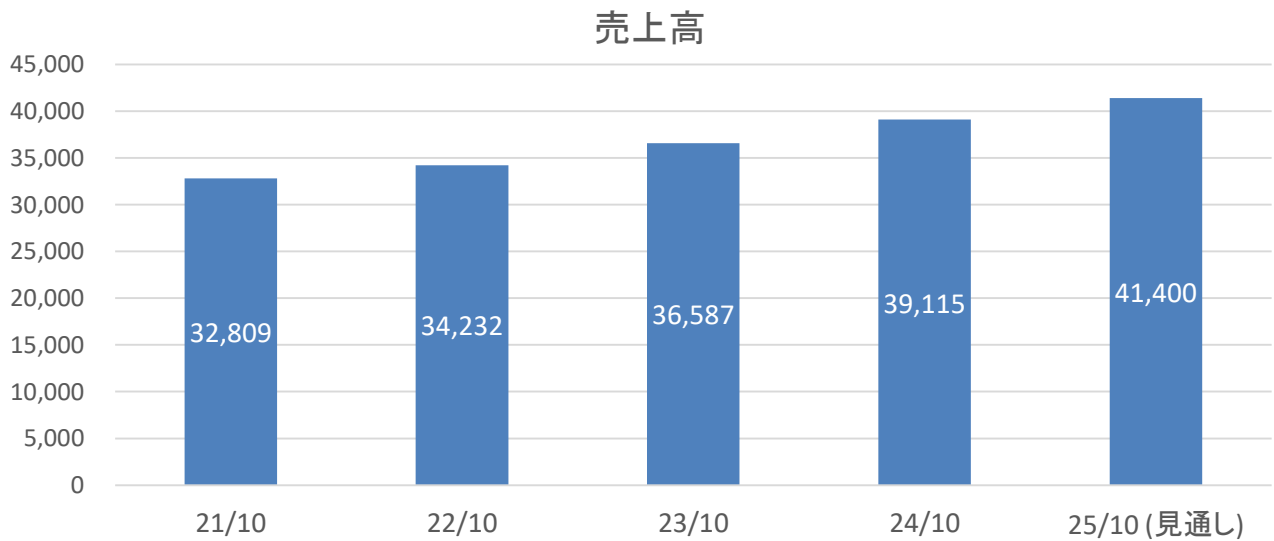
再掲



- 売上高は化成品、工業材料、鉱産の販売増により前年度比5.8%の増収を見込む
- 営業利益は人件費や営業開発関係等による販管費の増加を見込み前年度比0.7%減

(単位:百万円)

	24/10		25/10		
	実績	利益率 (%)	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	39,115	—	41,400	+5.8	—
売上総利益	8,692	22.2	9,180	+5.6	22.2
営業利益	3,516	9.0	3,490	▲0.7	8.4



2025年10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-

再掲

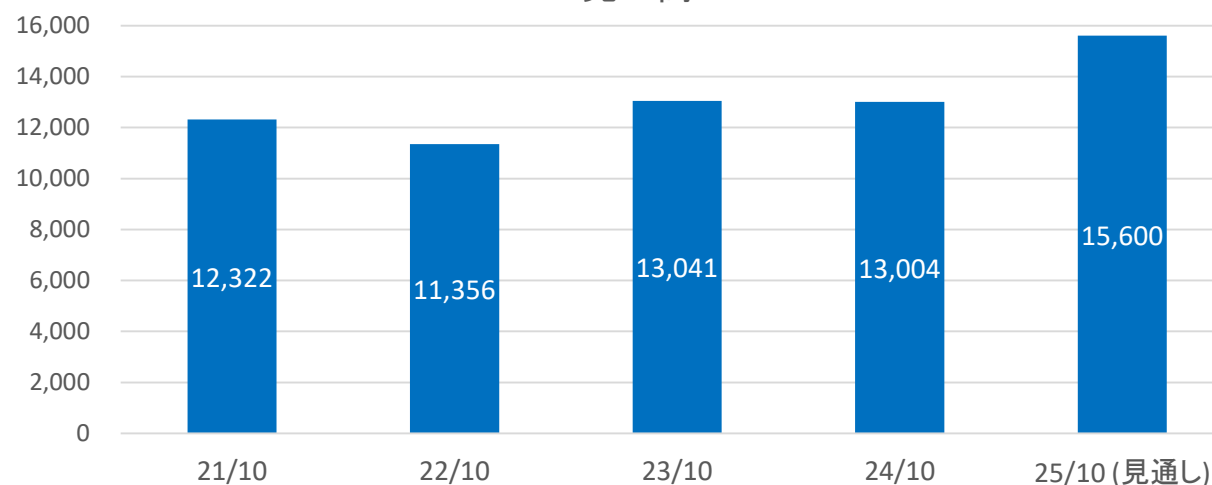


- ・ 売上高は国内官需・民需および海外の機械、装置・工事販売の好調により前年度比20%増
- ・ 営業利益は人件費や販管費の増加を見込むものの増収効果により前年度比23.8増

(単位:百万円)

	24/10		25/10		
	金 額	利益率 (%)	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	13,004	—	15,600	+20.0	—
売上総利益	4,799	36.9	5,750	+19.8	36.9
営業利益	1,187	9.1	1,470	+23.8	9.4

売上高



* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています



株式分割および 期末配当予想の修正(増配)ならびに 株主優待の条件緩和

分割比率

普通株式1株につき3株の割合を持って分割（分割比率 1:3）

分割の方法

株式の流動性向上および投資家層拡大を図るため、2025年4月30日（水）最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたします。

株式分割前の発行済み株式総数	10,533,200 株
今回の分割により増加する株式数	21,066,400 株
株式分割後の発行済株式総数	31,599,600 株
株式分割後の発行可能株式総数	73,650,000 株

分割の日程

基準日公告日（予定日）	2025年4月15日（火）
基準日	2025年4月30日（水）
効力発生日	2025年5月1日（木）

※ 詳細は、「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更、期末配当予想の修正（増配）ならびに株主優待制度の一部変更に関するお知らせ」（2025年3月24日公表）をご確認ください。

年間配当予想



- ・ 2025年10月期の期末配当予想を前回予想対比で実質2円の増配(年間ベース)を実施。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末(中間)	期末	年間
前回予想(2024年12月11日公表)	73円00銭	73円00銭	146円00銭
今回修正予想 (株式分割前換算)	73円00銭	25円00銭 (75円00銭)	— (注) (148円00銭)
【ご参考】前期実績(2024年10月期)	63円00銭	82円00銭	145円00銭

(注) 年間の1株当たり配当予想につきましては、株式分割の実施により単純計算が出来ないため表示しておりません。

株主優待の条件緩和



- ・ 優待条件の緩和を実施いたします。

保有期間		優待品	保有株式数
継続して1年以上保有*	株式分割前	ワイン1本	100株以上300株未満
		ワイン2本	300株以上
	株式分割後 (3分割)	ワイン1本	200株以上600株未満
		ワイン2本	600株以上

* 継続して1年以上保有とは、4月末日および10月末日の当社株主名簿に、同一の株主番号で各保有株式区分以上の株式を保有していることが連続3回以上記載または記録されていることをいいます。

<変更の時期>

2025年10月31日を基準日とした株主名簿に記載または記録された株主様に対する株主優待より、変更後の制度を適用いたします。

【ご参考】株価と出来高推移



対象期間：2022年11月1日～2025年3月27日



* 上記の「PBR 1倍ライン(株価 4,014円)」は、2025年10月期 第1四半期末時点の情報より算出



2025年 10月期 トピックス

鉍産関連: 三酸化アンチモン(Powder/Master Batch)

1)三酸化アンチモンの特徴と用途

物質	三酸化アンチモン (Sb_2O_3)	
使用目的	プラスチック、ゴム、繊維等の高分子有機材を難燃化	
用途	自動車、OA機器、家電製品(部品に添加剤として使用) 耐火服/作業着、内装用建材などにも使用	
形状	粉末状(Powder)	粒状(マスターバッチ)
特徴	一般的に使用されている	作業改善対策(防塵)として使用されている
成長性	Powder → マスターバッチ(MB)への切り替え	



従来の微粉末タイプ
三酸化アンチモン



フランス製
三酸化アンチモン・マスターバッチ
(粒状)

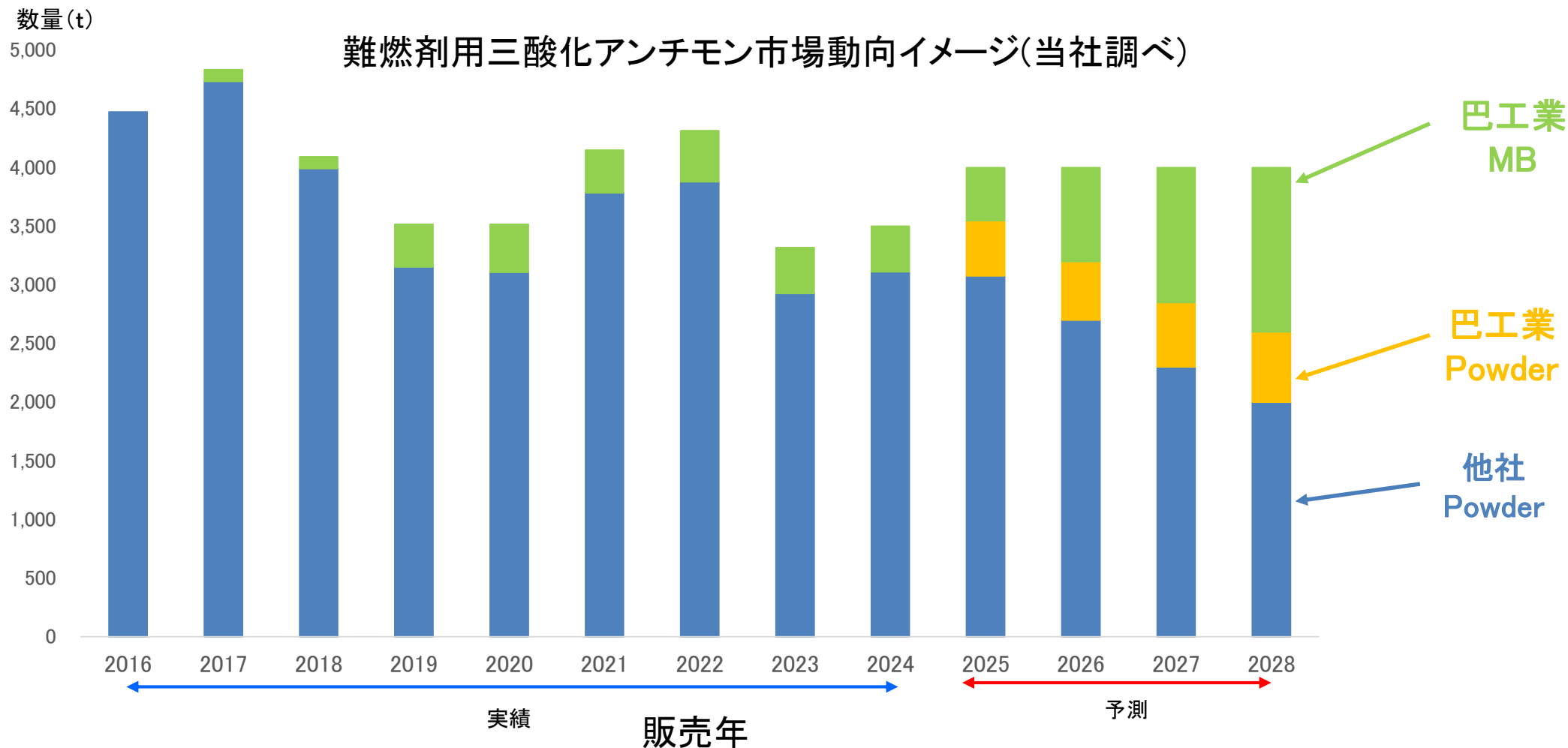
2)三酸化アンチモンの供給状況の比較

供給者	競合他社	巴工業
形状	Powder	Powder/マスターバッチ(MB)
供給元	中国	フランス
市況	中国の輸出規制中 (2024/9/15~)入手困難	安定供給 競合他社からの切り替え

トピックス(化学工業製品販売事業)

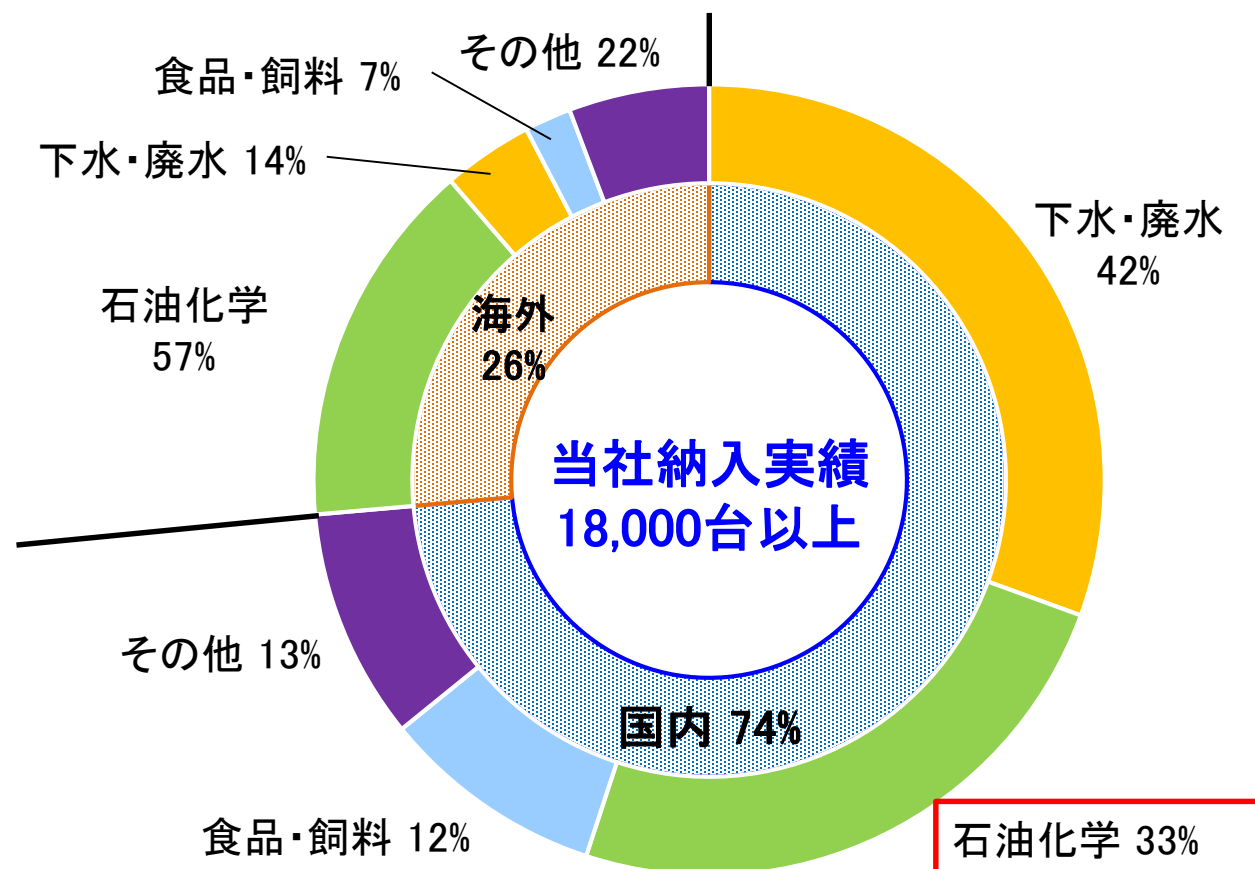


鉍産関連: 三酸化アンチモン(Powder/Master Batch)



他社からの切り替え、およびPowder → MBへの切り替えにより市場シェア向上を目指す

- ・ 70年以上の製造販売、修理実績をベースとした顧客からの厚い信頼
- ・ 今まで積み重ねてきたノウハウを基に、競合他社が対応出来ないカスタムメイド機の製造販売を実施
- ・ 高いシェアを背景に、幅広い顧客層と強固なネットワークを構築し、当社に初期案件情報が集約される
- ・ 機械販売だけに留まらず、元受工事の受注を可能にする技術力と組織体制
- ・ アジア圏を中心に、特に石油化学産業に多数の納入実績を持つ



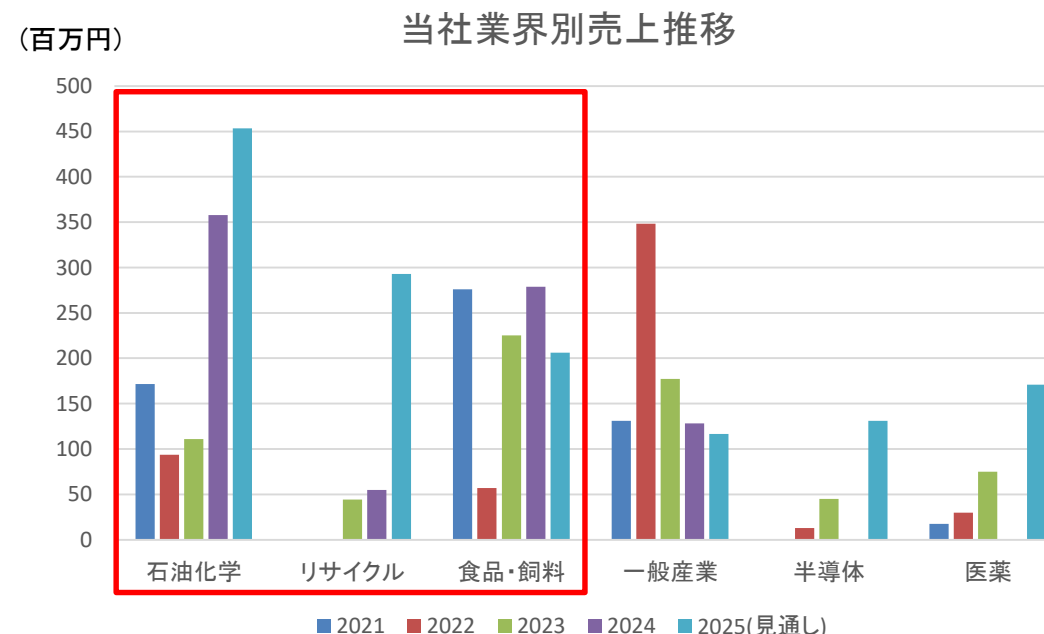
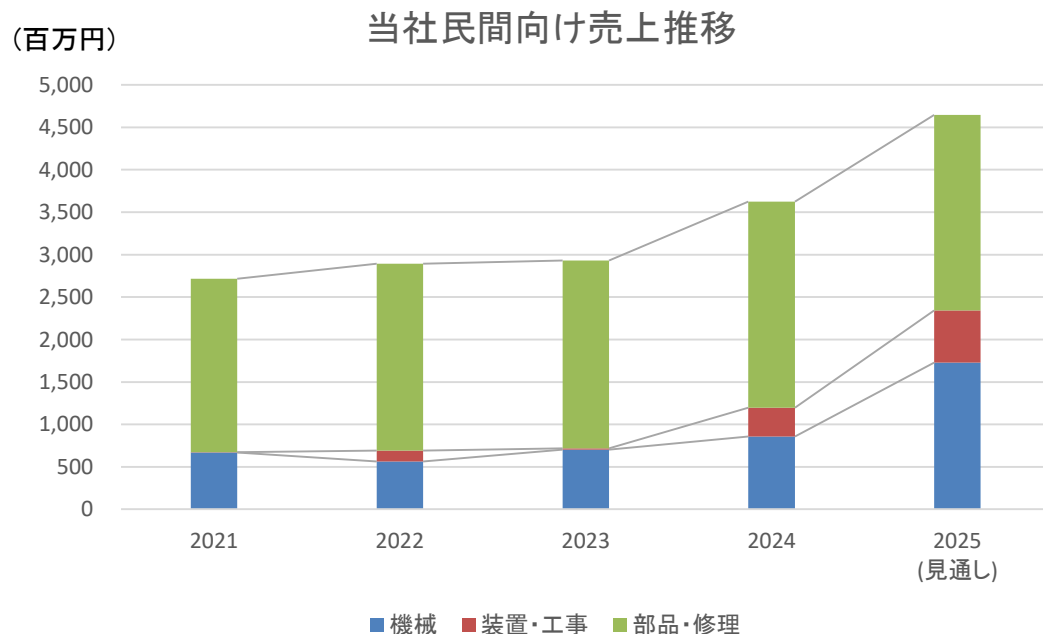
トピックス(機械製造販売事業)



- ・ 機械 : 当社でしか対応できない石油化学向け縦型遠心分離機、廃プラ選別機(リサイクル)が好調
食品・飼料向けでは、機械老朽化に伴う更新需要が増加 → **販売台数は前年度比50%増加の見通し**
- ・ 装置・工事 : 半導体向け装置、廃プラ(リサイクル)が好調
- ・ 部品・修理 : 値上げ効果および大型部品受注により好調 → **大型部品案件数は前年度比16%増加の見通し**

〈主な取組み〉

- ✓ リサイクル業界 : 廃プラ選別機、ケミカルリサイクル向け縦型遠心分離機への営業に注力
- ✓ 部品・修理 : 提案営業に力を入れて、大型部品受注増加を目指す





〈注意事項〉

本資料に掲載されている業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ
巴工業株式会社
経営企画部 IR・企画課
E-mail : ir-info@tomo-e.co.jp